

## D&DEPARTMENTのゲストルームが韓国チェジュ島に誕生 『D&DEPARTMENT JEJU by ARARIO』2020年春 開業

チェジュ島のロングライフデザインを伝える体験型宿泊施設

長く続くその土地らしいデザイン＝“ロングライフデザイン”を発掘し、紹介する活動を国内外10拠点で展開する「D&DEPARTMENT PROJECT」(代表:相馬夕輝/本社:東京都世田谷区)は、2020年春、世界初となる体験型宿泊施設を併設した「D&DEPARTMENT JEJU by ARARIO」を、韓国チェジュ島に開業いたします。チェジュ店のパートナーとなるのは、百貨店やバスターミナル、美術館経営を通して、人々の生活に文化の感動をもたらすことを経営理念とする生活文化創造企業の「ARARIO Co., Ltd.」(代表:CI.Kim/本社:韓国天安市)です。

建物外観着工前



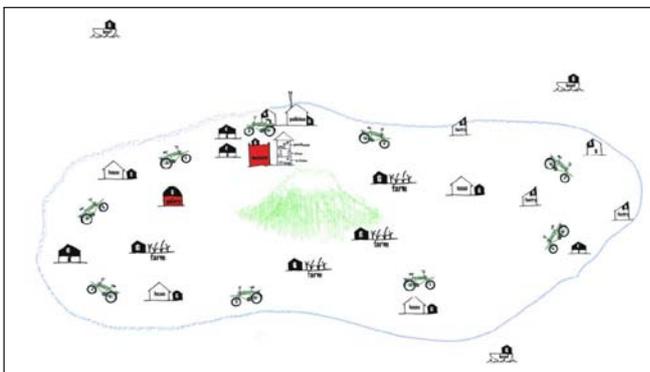
2019年7月着工時



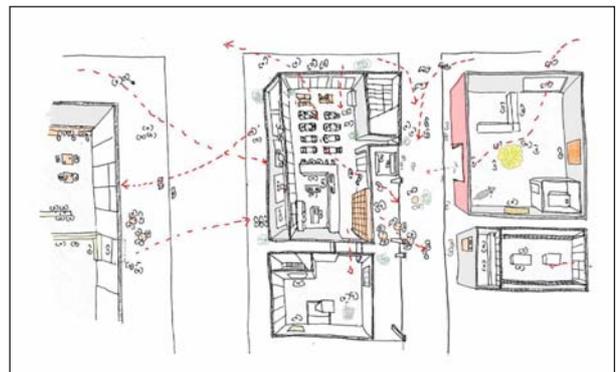
1階はチェジュ島の食文化や郷土料理を伝える「d食堂」、2階はロングライフデザインの生活用品や地域の物産品を販売する「D&DEPARTMENT」と、中長期滞在向けの宿泊付店舗「d news」、3階は13室のゲストルーム「d room」で構成されます。

ロケーションは済州国際空港から車で15分程、島の北側に位置する旧済州(クチェジュ)エリア。1990年代に市場やショッピングスペース、映画館などが立ち並び、済州島最大の繁華街として栄えましたが、その後は、繁華街が済州市の南側の新都市に移り、開発が進まず、のんびりとした地元の人々の暮らしが残るエリアです。「ARARIO MUSEUM」に隣接した3階建ての建物で、ARARIOがベーカリーショップやレストラン、事務所、倉庫として使用していました。建築リノベーションは、スキーマ建築計画の長坂常氏が担当し、この建物だけに留まらず、人々の交流と賑わいが街に染み出していくような交流拠点となることを目指し、ゆるやかなエリア開発を進めてまいります。

エリア開発のイメージスケッチ



©Jo Nagasaka/Schemata Architects



©Jo Nagasaka/Schemata Architects

本件の画像は以下 URL よりダウンロード可能です。ご使用の際はご一報ください。 <https://bit.ly/30tYdqW>

— 本件に関するお問い合わせ — D&DEPARTMENT PROJECT 広報 清水  
tel.03-6427-3401 fax.03-3797-1721 / pr@d-department.jp

## ●フロア構成



3F d room



2F D&amp;DEPARTMENT



1F d食堂

## &lt;3F&gt;

**D&DEPARTMENTが初めてつくるゲストルーム d room(ディールーム)** /面積:789㎡

D&DEPARTMENTが創業当時から目標としていたホテルが、遂に20年越しに実現します。目指すのは「ホテルのようなもの」。ホテルのようであり、D&DEPARTMENTのショールームのようであり、チェジュに暮らす友人の部屋を訪ねる感覚で泊まれる場所。長坂常氏とナガオカケンメイの間では、「それじゃホテルになっちゃうからダメだね」という対話を続けながら設計を進めています。全13室の部屋のインテリアはロングライフデザインの定番商品とユーズド家具で構成され、地元のアーティストの絵画や写真、部屋着やカップに至るまで、調度品の全てが購入可能。環境に配慮し、使い捨てのアメニティは排除し、D&DEPARTMENTが選定する定番商品をフロントに併設の宿泊者専用ショップで必要に応じて購入していただく仕組み。フロントでは、『d design travel』編集部独自の目線で選定、紹介する観光の案内機能も備え、交流体験型のゲストルームになります。

## &lt;2F&gt;

**D&DEPARTMENT JEJU (ディアンドデパートメント チェジュ)** /面積:303㎡

流行に左右されることなく、作られ使い続けられているロングライフデザイン商品を韓国、日本、世界からセレクト。使い勝手の良い生活用品や家具が揃います。チェジュ島の歴史と文化の中で育まれてきた工芸品や地場産業、特産品とその素材や技術なども発掘、紹介をしていきます。

**中長期滞在向けの宿泊付店舗 d news(ディニュース)** /面積:98㎡

D&DEPARTMENTが新たなに提案する旅の形です。厨房付きのギャラリーショップに宿泊施設を併設し、D&DEPARTMENTの売り場の中に泊まりながらショップを出店することができます。その土地の素材や技術などアーカイブを学び、そこからインスピレーションを得て、そのままその土地に滞在して創作を行い、その成果をギャラリーショップで発表、販売するという商品開発型メーカーズレジデンスです。チェジュ名物の太刀魚やアワビを使って1週間限定のカレーショップをオープンするシェフ、一晩限りのライブや上映会を開く音楽家や映画監督、陶芸家や彫刻家は長期滞在して、自分の作品をショップで販売しながらチェジュ島の溶岩石を使った新たな創作にチャレンジする…。これまでD&DEPARTMENTが20年をかけて、各地域で活動を行う中で出会ったネットワークを活かし、さまざまな作り手のコンテンツをこの場所に投げ込みなら、新たな交流と創造を生んでいく、そんな場所になります。

## &lt;1F&gt;

**チェジュの食文化を紹介する d食堂(ディしょくどう)** /面積:232㎡

地元の旬の素材を使い、昔から地域で食べられてきた調理方法を基本に、美味しく正しい食事が楽しめる食堂です。地元の生産者を招いての勉強会や料理教室など、チェジュの食文化を若い世代にカジュアルにわかりやすく伝えていく活動も行っています。

## ●施設概要

名称	D&DEPARTMENT JEJU by ARARIO
所在地	3 Tapdong-ro 2-gil, Jeju-si Jeju-do Korea
面積	敷地面積:1197㎡ 延床面積:2327㎡ (3F d room:789㎡/2F ショップ:303㎡、d news:98㎡/1F d食堂:232㎡、ギャラリー:91㎡)
着工	2019年7月
開業	2020年春(予定)
プロデュース	ディアンドデパートメント株式会社
事業主	ARARIO Co., Ltd.
設計	有限会社スキーマ建築計画
施工	Yigak Construction Co., Ltd.

## ●D&DEPARTMENT PROJECT(ディアンドデパートメント株式会社)

2000年にデザイナーのナガオカケンメイによって創設された「ロングライフデザイン」をテーマとするストアスタイルの活動体。現在は国内外10拠点(東京、北海道、富山、埼玉、山梨、京都、鹿児島、沖縄、韓国ソウル、中国黄山)で展開を行う。2009年よりデザイン観光ガイドブック『d design travel』を創刊。2012年、日本初の47都道府県の魅力を展覧するデザイン物産ミュージアム「d47 MUSEUM」をオープン。物販、飲食、出版、観光を通して、地域の“らしさ”を見直す活動を行っている。www.d-department.com

## ●ARARIO(アラリオ)

ARARIOは1978年、CI.Kimが天安ターミナル事業を引き受け、創業した。“アートがある場所に良い人が集まる”という信念を基に、天安にアートを中心とした「新世界百貨店・忠清店」やターミナル、ギャラリー、映画館などを併設するショッピングモールを運営している。また、ソウル、天安、済州、中国上海にギャラリーやミュージアムを運営しながら、アーティストを支援、発掘するとともに、CI.KIMのコレクションをパブリックにオープンすることでアートのある生活を提案しつづけている。済州の古い建築をミュージアムに変え、アートを中心に様々なコンテンツを取り入れながら旧都心を再生する活動にも取り組んでいる。www.arariomuseum.org

## ●長坂常 スキーマ建築計画

スキーマ建築計画代表。1998年東京藝術大学卒業後にスタジオを立ち上げ、現在は青山にオフィスを構える。家具から建築、そして町づくりまでスケールも様々、そしてジャンルも幅広く、住宅からカフェ、ショップ、ホテル、銭湯などなどを手掛ける。どのサイズにおいても1/1を意識し、素材から探求し設計を行い、国内外で活動の場を広げる。日常にあるもの、既存の環境のなかから新しい視点や価値観を見出し「引き算」「誤用」「知の更新」「見えない開発」「半建築」など独特な考え方を提示し、独自の建築家像を打ち立てる。<代表作> sayama flat / hanare / flat table / coloring / blue bottle coffee / 桑原商店 / お米や / DESCENTE BLANC / HAY / 東京都現代美術館など  
www.schemata.jp